

産業建設分科会

(問) 交通安全施設整備事業費において、国からの補助が2,000万円増加したこと、また、点検内容は市内業者でできるのかということについて

(答) 笹子トンネル落下事故等を受け、道路舗装、看板等の道路ストックの老朽化チェックを行い、整備計画を立てるという国の方針に基づき、道路案内看板、水銀灯等をチェックするものです。また、点検について、平成26年度については一般コンサルに発注する予定です。将来的には、市の技術職員で対応できるようにしたいと考えています。

主な討論

※討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。(討論順)

< 議案について >

森田英治議員 (開政クラブ)

全議案に賛成。基金を取り崩してでも必要な事業を行う予算計上はよい方向であり賛成する。総合雨水対策基本計画策定においては、慎重に検討しながらもスピード化が重要。防犯灯設置は、危険性を優先すべきである。教育現場のICT化も校務支援ソフトの導入が必要である。財政負担を軽減する施策も合わせ考え、下水道について検討を強く要望する。

石田秀三議員 (日本共産党)

議案第4号、第9号、第10号、第11号について反対し、その他の議案については賛成。消費税3%増税に反対し、中止を求める。昨年12月議会で、消費増税に合わせて各種使用料等の引き上げの条例に反対したため、実行する予算議案である議案第4号には反対。また、今後実施する中学校給食の調理部門民間委託についても反対である。

南条雄士議員 (すずか倶楽部)

議案第4号に反対。その他の議案は賛成。議案第4号は、中学校完全給食のための施設整備費等が計上されているため反対。市長は『100年先の計画を立てる』と言うが、それならば食育や自助の先進事例である現在の弁当制を継続し、中学校完全給食にかかる100年で数百億円という税金を、優先的に基礎学力の向上や教育施設整備のために使うべきである。

中西大輔議員 (すずか倶楽部)

全議案に賛成。議案第4号平成26年度予算において、総合計画策定、協働の指針策定、都市マスタープラン策定など市にとって重要な案件がある。公共施設マネジメント推進費、消防力適正配置等調査事業費、総合雨水対策基本計画策定費などもあり、市民にわかりやすく公開し進めるべき。議会に対しても精緻な情報提供と、密な意見交換を行うよう求める。

< 請願について >

南条雄士議員 (すずか倶楽部)

請願第1号について反対。消費税の増税分は社会保障に使われる。増税分を使った社会保障制度を考えることで逆進性(低所得者ほど税負担率が高くなる問題)対策をすればよいことから、消費税軽減税率導入自体に反対し、軽減税率の適用を求める本請願に反対する。

中西大輔議員 (すずか倶楽部)

請願第1号について賛成。請願者が新聞販売店であること、販売店の経営状況が厳しい中、地域貢献活動を行っていることもあり請願の趣旨には賛同する。ただし、複数税率についての議論が不足していると考えられること、また諸外国との税率比較の検討に懸念がある。